

- 九州地区国立大学連携事業 - 防災・環境ネットワーク シンポジウム2007・イン・ナガサキを開催

8月31日(金),「九州地区国立大学連携事業 - 防災・環境ネットワークシンポジウム2007・イン・ナガサキ」を開催しました。

このシンポジウムは,(社)国立大学協会九州地区支部会議の協議を受けて,九州地区の11国立大学の連携事業として企画されたもので,第1回目の今年は長崎大学の全学教育講義棟を会場に,九州地区の「防災・環境」をテーマとして研究者や行政関係者など約280名が参加し開催されました。

シンポジウムでは,午前中は各大学の研究者から九州地区における過去の各種災害と今後の課題について講演があり,午後からは渡邊淳文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室長から「文部科学省における防災科学技術の概要について」と題しての講演がありました。また国土交通省,関連企業及びNPOの専門家から行政,民間,NPOの防災・環境への取組みについて,それぞれ発表があり,パネルディスカッションでは,防災・環境ネットワークの今後の活動・取り組むべき課題について活発な討論が行われました。

また,シンポジウムの最後に「防災・環境ネットワーク長崎宣言」と題して,それぞれの大学の特徴を生かし地域性を考慮して,「九州は一つ」という理念のもと「連携」をキーワードに,(1)大学間の連携,(2)地域(住民,NPO等)との連携・地域への貢献,(3)行政との連携,(4)「姿なき研究所」の設立の4項目について積極的な活動を推進するとの宣言を採択し終了しました。

その他,別会場では各大学・行政機関等のブースが設けられ防災対策の機材,パネル,資料等の展示があり,参加者は熱心に見入っていました。

また,会場の外では,長崎市消防局から地震体験車のデモンストラーションがあり,参加者の他に学生・一般人も多数体験し,「防災の日」が翌日ということもあり,関心の高さが伺えました。

(総務部総務課)



歓迎の挨拶をする谷山長崎大学理事



開会挨拶をする菅沼宮崎大学理事



開催趣旨説明を行う有川九州大学理事



熱心に聴講する参加者



講演を行う渡邊室長



パネルディスカッション

